

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館企画展「東海道五十三次漫画
絵巻」と歌川広重「狂歌入東海道」から

東海道の旅の終着（なるかみ）の音にき点、京都。「狂歌入東海道」では起点・日本橋を横からとらえたのに対し、終点・三条大橋を正面からとらえ、どちらも画面中央で橋と川が交差する、対をなす構図になっています。本作の鴨川に架かる三条大橋の遠景には東山三十六峰と比叡山が描かれ、これも日本橋の江戸城と富士山と対照的で、シリーズに統一感を与えようとしたことがうかがえます。

東京から京都まで徒歩で移動する一大旅行。画中の狂歌「鳴神



「東海道五拾三次 京三条大橋ノ圖」

1840年ごろ 横中判錦絵
15.5セ×21.0セ (大川美術館蔵)

歌川広重 (1797-1858年)

(大谷)